

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 松山市立新玉小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()

住所 〒790-0011
松山市千舟町八丁目89番地

Website: http://aratama-e.esnet.ed.jp/

児童生徒数：男子 265名 女子 278名 合計 543名
児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

4月～5月	○ 「飛べ、千羽鶴」を読んで感想を発表し合ったり、修学旅行で資料館を見学したりして、平和について考える。（10時間）
5月～6月	○ NPO法人えひめグローバルネットワーク（ENG）代表竹内よし子氏の話聞いて、世界の現状を知り本当の平和とは何かを考えていこうという学習の見通しをもつ。（2時間） ○ モザンビークについて調べ学習をし、発表し合い、現状について共通の知識を深める。（2時間） ○ モザンビーク平和20周年記念交流イベントで、モザンビークの「銃から鋏（くわ）へ」平和構築プロジェクトの創始者であるディニス・セングラーネ司教、大英博物館で展示されているモザンビークの武器アート「生命の木」の企画制作を担当されたクリストファー・スプリング氏、国立民族学博物館教授吉田憲司氏が来校し、「モザンビークと平和」というテーマの話聞く。（2時間）
6月～7月	○ モザンビークのために、自分たちにできることを計画する。（10時間） 2グループ【募金活動・支援物資集め】に分かれ計画を立てる。但し、広報活動は、各グループの活動に含む。
9月 ～12月	○ モザンビークのために、自分たちにできることを実践する。（37時間） 【募金活動・支援物資集め】（30時間） 【絵を通じた交流活動】（7時間） ○ 募金活動・支援物資集めの報告を行う。また、集まった募金・支援物資をENGの方に託す。（モザンビークまで届けてもらう。）（2時間）
1月～2月	○ 集まった募金や支援物資がモザンビークでどのように生かされているかについて、現地へ行ったENGの方からの話を聞く。（1時間）
3月	○ 活動したことを5年生に伝えるための資料作りをし、学習のまとめとする。（3時間） ○ 5年生への引き継ぎの会をする。（1時間）

交流校・・・ボンドイア、シニャンガニーネ、ワマニャンガ、マレンガーネ小学校

活動の様子・資料



【絵の交流活動
左：モザンビークマレンガーネ小 右：新玉小】

【モザンビーク平和 20 周年記念イベント紹介記事
～平成 24 年 5 月 29 日 愛媛新聞～】

- 活動時間について（下記から選択して下さい。）
- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
 - 時間外活動の時間を使用
 - ユネスコクラブの活動として実施
 - その他（ ）
- 活動の内容を補完する以下の資料があれば添付願います。※公表しません
- 紙媒体の参考資料（新聞、出版物など）
 - CD-ROM
 - 写真
 - その他（ ）